

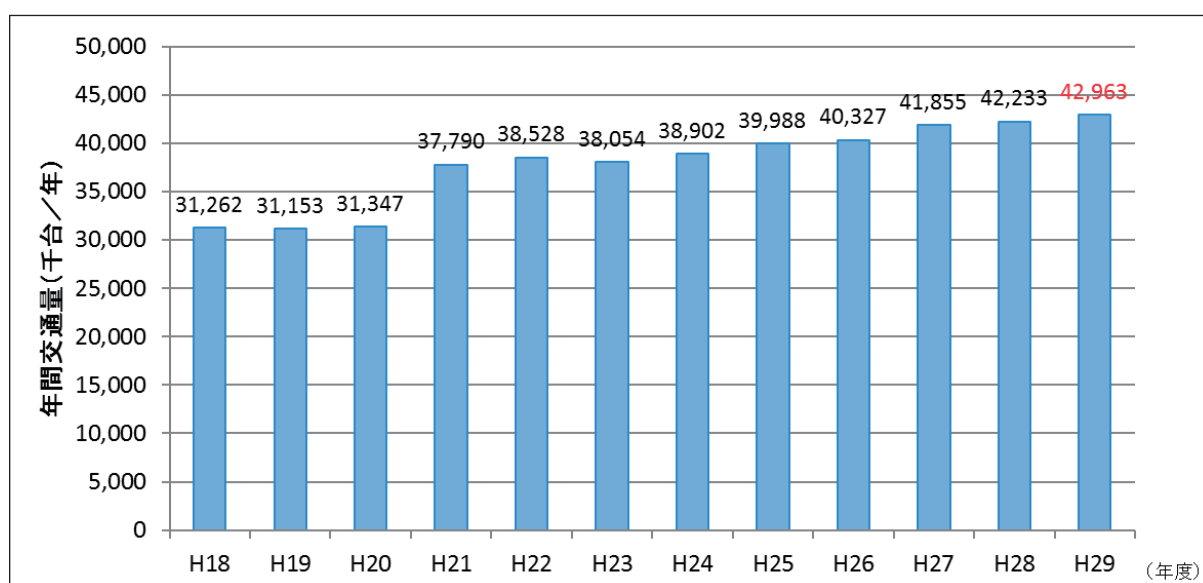
# 瀬戸中央自動車道 30 周年及び神戸淡路鳴門自動車道 20 周年を迎えて

本州四国連絡高速道路株式会社

## 1 はじめに

昭和 63 年 4 月、瀬戸大橋の完成により本州と四国が初めて陸路で結ばれ、人と物の流れが劇的に変わり、社会に大きなインパクトを与えるとともに、平成 10 年 4 月には、明石海峡大橋の開通を含む神戸淡路鳴門自動車道が全通、関西経済圏と四国が直結し、本州四国連絡高速道路（以下「本四高速道路」といいます。）による大きな経済効果がもたらされています。

そして平成 30 年、瀬戸中央自動車道が開通 30 周年、神戸淡路鳴門自動車道が全通 20 周年という節目の年を迎えました。平成 11 年 5 月に開通した西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）を含むこれら本四高速道路の交通量は、平成 29 年度には年間約 4,296 万台に達し、6 年連続で過去最高を更新するなど、多くのお客様にご利用いただいています。【図－1】



【図－1】 利用台数（出口交通量：全車全日）

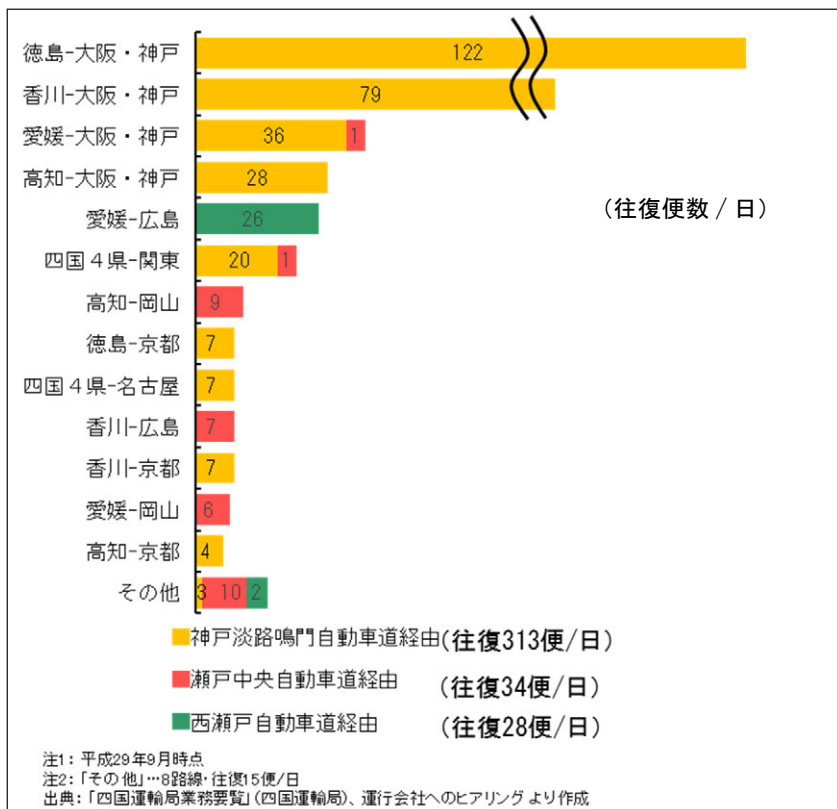
さらに、橋梁には光通信ケーブル、送電線、送水管等のインフラ設備が添架されており、本四高速道路が地域に欠かすことのできない重要なインフラとしても機能しています。

## 2 地域の発展に貢献

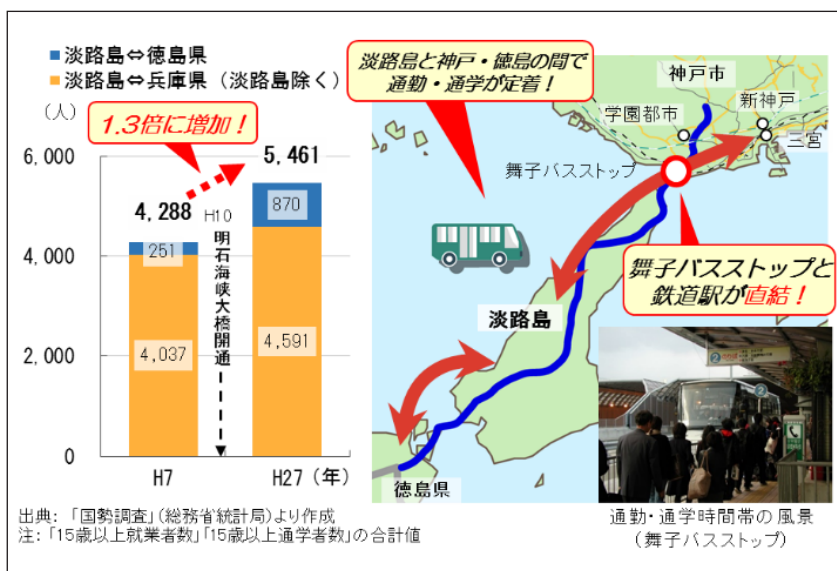
### (1) 本州・四国間で多数の高速バスが運行

本州と四国間を運行する高速バスは、四国4県と大阪・神戸とを結ぶ路線を中心に、往復375便/日が運行されており、そのうち、神戸淡路鳴門自動車道を経由する便は、往復313便/日で、全体の約83%を占めています。【図-2】

また、明石海峡大橋開通後に運行を開始した、淡路島と神戸方面とを結ぶ高速バスは、便数の豊富さと、神戸・三宮や舞子で鉄道駅に直結しているアクセスの良さが特徴で、現在では、淡路島と神戸・徳島の間での通勤・通学は定着し、就業者数・通学者数は20年間で約1.3倍に増加しています。【図-3】



【図-2】 本州・四国間的高速バス発着地別便数

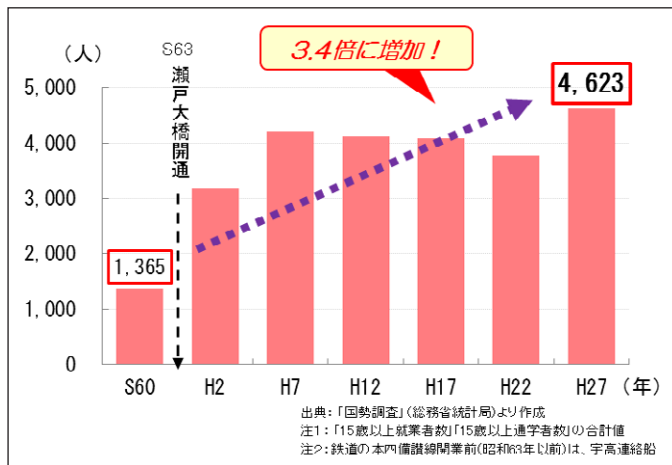


【図-3】 淡路島と兵庫県・徳島県間の就業者・通学者数の変化

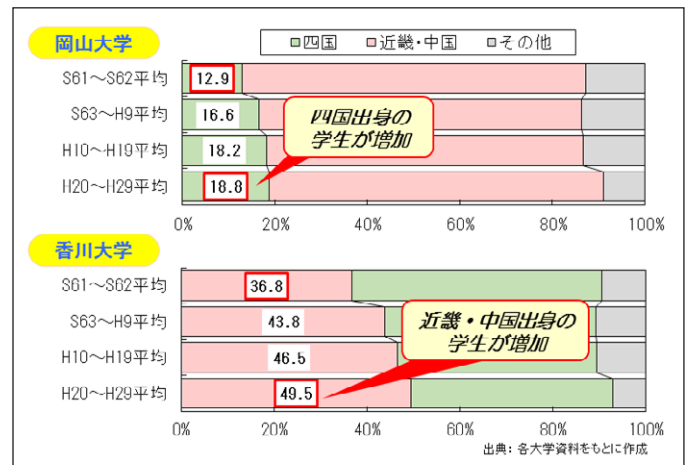
## (2) 岡山県と香川県間の通勤・通学が定着

瀬戸内海を隔てる岡山県と香川県の間では、瀬戸大橋を利用した通勤・通学が拡大し、就業者・通学者数は瀬戸大橋開通前の約3.4倍に増加しました。【図－4】

四国から岡山大学に入学する学生の割合は、瀬戸大橋開通前の10%程度から現在では20%程度に増加しており、香川大学への入学者は、近畿・中国地方出身者の割合が半数程度を占めています。【図－5】



【図－4】岡山県と香川県間の就業者・通学者数の推移



【図－5】岡山大学・香川大学入学者出身地の変化

## (3) 坂出・坂出北 IC、早島 IC 近辺に物流拠点が形成

瀬戸大橋の開通や、本四高速道路に関する高速道路ネットワークの拡充により、香川県・岡山県は物流のクロスポイントとなりました。

坂出・坂出北 IC 近辺の香川県坂出市・宇多津町や、早島 IC のある岡山県早島町では、各自治体による立地促進対策等により、運輸業等の物流関連施設の立地が相次いでいます。【図－6】

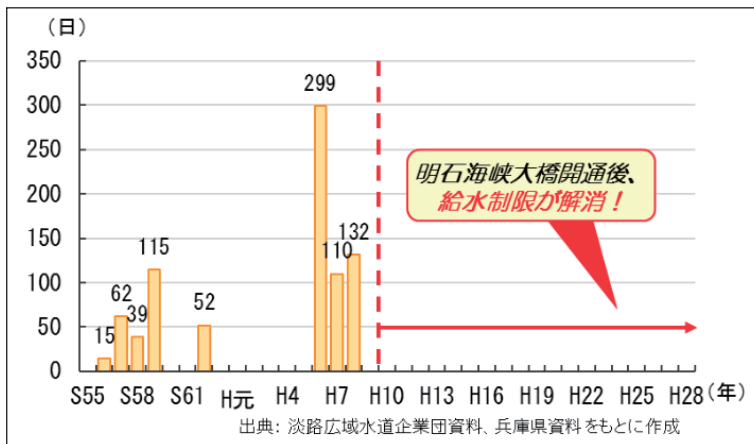


【図－6】瀬戸大橋近辺の物流関連施設立地状況

#### (4) 送水管の設置により、淡路島の給水制限が解消

淡路島は温暖・多照・少雨の気候で、地形・地勢的に水の確保が難しいことから、かつては渇水が頻繁に発生する地域でした。平成10年の開通と同時に、明石海峡大橋には送水管が設置され、本州側から淡路島への送水が開始されたことにより、以後、淡路島内での給水制限は解消されています。【図-7】

【写真-1】



【図-7】 淡路島内における給水制限（年間最大日数）

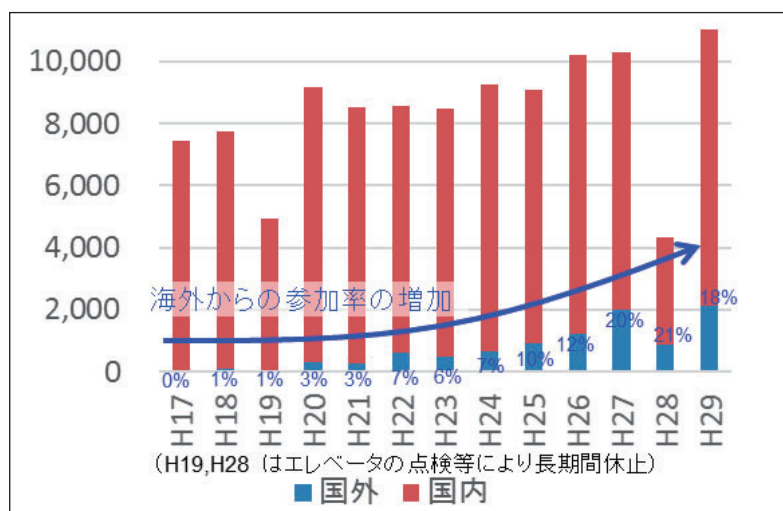


【写真-1】 明石海峡大橋に設置されている送水管

#### (5) インフラツアー

明石海峡大橋では高さ約300mの主塔に登頂する「明石海峡大橋ブリッジワールド」を毎年4月～11月の毎週木曜日から日曜日及び祝日に開催しており、インフラツーリズムの先駆けとして、平成17年度の開始以来、昨年5月には、参加者が延べ10万人を越え、近年は、海外からの参加者（インバウンド）が全体の約2割を占めています。【図-8】【写真-2】

瀬戸大橋（北備讃瀬戸大橋）においても塔頂体験ツアーを実施するなど、海峡部長大橋を活用した多くのインフラツアーを実施し、お客様に橋の雄大さ、技術の素晴らしさを伝え、さらに、明石海峡大橋及び瀬戸大橋ではライトアップも行っており、これらは、地域の観光資源としての役割も担っています。



【図-8】 明石海峡大橋ブリッジワールド参加者数



【写真-2】 塔頂からの眺め



### 3 開通記念式典及び記念イベント

4月7日に淡路サービスエリア（上り線）で神戸淡路鳴門自動車道全通20周年記念セレモニーが、翌4月8日には、与島パーキングエリアで瀬戸大橋開通30周年記念式典が、関係機関や地元関係者など多くの方々の参加のもと、実施されました。【写真-3、4】



【写真-3】全通20周年記念セレモニー



【写真-4】開通30周年記念式典

また、記念イベントも実施され、多くのお客様にお楽しみいただきました。【写真-5、6】



【写真-5】ステージでの阿波おどり



【写真-6】音楽フェスの観覧者

そのほか、年間を通じて周年を記念したイベントが地元自治体等と協働して実施されています。

来年は、西瀬戸自動車が開通20周年を迎えます。JB本四高速グループは、今後も地元自治体等と連携し、本四連絡橋を観光資源として、新たな誘客や様々な情報発信に取り組み、地域の活性化につなげることをとしています。